

すだちだより 9月号

令和8年9月2日 第344号

発行 徳島市教育研究所 徳島市幸町2丁目5番地 TEL621-5432

すだち学級 TEL:623-5150 E-mail:sudachi@tgn.tcn.ne.jp

長かった夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。通級生のみなさんが明るい表情で登級する姿を見ることができ、うれしく思います。まだまだ暑い毎日が続きますが、みんなで楽しく活動し、飛躍の2学期にしたいと思います。

夏休み中は、保護者のみなさまや担任の先生方にすだち学級にお越しいただき情報交換を行うなど、大変貴重な時間をもつことができました。御協力ありがとうございました。

すだち学級オリジナルキャラクター

今年のすだち学級オリジナルキャラクターが決まりました。通級生がどんなキャラクターにしたいのか、キーワードとなる「モチーフ」「色」「チャームポイント」「コスチューム」「性格」「キャラクターの特技」等のアンケートをとりました。そのキーワードをもとに、生成 AI を使い12種類のキャラクターを作成しました。そのキャラクターから通級生が投票をし、決定しました。名前は、「すっちゃー」です。来月号よりすだちだよりタイトルに、このキャラクターを掲載します。



七夕まつり（家庭科実習・お楽しみ会）

7月7日（火）に七夕まつりを行いました。午前の家庭科実習では、お好み焼き作りに取り組みました。野菜を切ったり、生地を作ったりとグループの中で協力し、自分の好みの具材を選んで焼きました。個性豊かな自分だけのミニお好み焼きが出来上がりました。

午後からのお楽しみ会では、「以心伝心ゲーム」と「ビンゴ大会」を行いました。「以心伝心ゲーム」では、4チーム対抗で行い、チーム内の回答がバラバラになると悔しがったり、一致すると大いに盛り上がったりしました。「ビンゴ大会」で1位から3位になった通級生には、マリーゴールドの花の苗と学級園で育てた野菜が賞品として贈られました。全員で楽しみ、充実した七夕まつりになりました。



スマホ・インターネット安全教室

7月13日（月）にスマホ・インターネット安全教室を行いました。事前に行った通級生スマホ利用状況アンケートをもとにすだち学級職員が講師として、通級生の実態に合わせた内容を行いました。

自分を守るための「知恵」として、スマホをより正しく安全に使えるよう、いろいろな動画を視聴し、ペアで話し合うことで新たな気付きがありました。インターネット被害の実態やその怖さについても知り、「（直接）会わない、（個人情報）を載せない、（写真などを）送らない」という大原則についても確認しました。



9月の行事予定

9月2日（水）すだち学級始業式
4日（金）すだち祭に向けて
8日（火）英語活動
9日（水）ふれあいスポーツ（体育館）
11日（金）百人一首大会
14日（月）いきいきタイム

16日（水）ふれあいスポーツ（河川敷）
18日（金）美術実習
25日（金）音楽実習【overlap スペシャルライブ】
29日（火）家庭科実習
30日（水）ふれあいスポーツ（河川敷）

とまり木の会



第2回「とまり木の会」を開催します。「とまり木の会」は、「子どもが学校に行けない」「子どもが教室に入りにくい」と悩んでいる保護者の方が、専門の先生の意見を聞いたり、参加者と悩みを共有したりして、共に学び合う会です。すだち学級に通われているお子さまの保護者の方だけでなく、徳島市内の保護者の方はどなたでも御参加いただける会となっています。

力を抜いて語り合うことで、何かのヒントや安心を得て、心のエネルギーを充電してみませんか。是非、お気軽にご参加ください。

日時 令和8年9月15日（火） 14:00～16:00
場所 ふれあい健康館 2階 第4会議室（会場が変更になりました。）
講師 追手門学院大学 准教授 廣瀬 雄一 先生
テーマ 「保護者・家族としてできること①:子どもへの関わり方の基本といくつかの工夫」

なお、参加を希望される方は、9月14日（月）13時までにすだち学級へ、電話もしくはメールにてお申し込みください。
（すだち学級 TEL:623-5150 E-mail:sudachi@tgn.tcn.ne.jp）



～いきいき未来サポーターより～



「得意なこと」をもつことについて

前回^{ぜんかい}は、「好きなこと^す」についてでしたが、今回^{こんかい}は、いきいき面談^{めんだん}の2つ目^めの質問^{しつもん}である「得意なこと^{とくい}」について話^{はな}したいと思^{おも}います。通級生^{つうきゅうせい}は、ワークシートに、自分^{じぶん}の得意なこととし^{とくい}て「イラストを描くこと^か」「ダンス」「ギター」など色々^{いろいろ}なことを書^かいてくれます。「得意なこと^{とくい}」がある子^こは、自己肯定感^{じここうていかん}が高いと言^いわれています。「得意なこと^{とくい}」が、自分だけがそう思^{おも}っているのか、誰^{だれ}から見てもそうなのかによ^よって、自己肯定感^{じここうていかん}のもち方^{かた}が変わ^かってきます。また、「生まれつき運動神経^{うんどうしんけい}が良い」といったように元々得意だったのか、それとも努力^{どりよく}の結果得意^{けつかけとくい}になったのかでも、自己肯定感^{じここうていかん}のもち方^{かた}が変わ^かってきます。この自己肯定感^{じここうていかん}を高めるためには、成功体験^{せいこうたいけん}を重ねることや、周り^{まわ}の人から賞賛^{しょうさん}を受けることが大切^{たいせつ}だと言^いわれています。さらに、通級生^{つうきゅうせい}の中には「お手伝い^{てつだい}」や「家の掃除^{いそ}」と書^かいてくれた子もいました。この「誰かの役^{だれ}に立^たっている」という感覚^{かんかく}は、自己肯定感^{じここうていかん}ではなく、自己有用感^{じこゆうようかん}と言^いわれています。このように、「得意なこと^{とくい}」を書^かいてもらうことで、改^{あらた}めて自己肯定感^{じここうていかん}や自己有用感^{じこゆうようかん}に気付^{きづ}いてほしいと思^{おも}っています。



しかし、「得意なこと^{とくい}はない」と言う通級生^{つうきゅうせい}もいます。私も、子どもの時^{とき}はそうでした。自己肯定感^{じここうていかん}や自己有用感^{じこゆうようかん}の他に、自尊感情^{じそんかんじょう}というものがあります。これは、「ありのままの自分^{じぶん}で良いんだ」という感覚^{かんかく}です。仏教^{ぶつぎょう}を開いたお釈迦様^{しやくあさま}は、「天上天下唯我独尊^{てんじょうてんかぜいがどくそん}（この地上^{ちじょう}で生^いきているだけで尊^{とうと}い）」という言葉^{ことば}を残^{のこ}しています。本当^{ほんとう}は、得意なもの^{とくい}がなくとも役^{やく}に立^たつよりも迷惑^{めいわく}をかける方が多^{おほ}くても、生^いきているだけで素晴らしいです。ちなみに、私^{わたし}が得意なこと^{とくい}は、「ケーキ作り^{ケーキづくり}」です。

☆いきいき未来サポーターは、すだち学級常駐^{がっきゅうじょうちゅう}のカウンセラー（学校^{がっこう}でいうスクールカウンセラー）です。ご利用^{りよう}の際は、すだち学級^{がっきゅう}へお電話^{でんわ}ください。（TEL:623-5150）